

東京国公だより

【電話】 03-3501-6973

【FAX】 03-3500-4391

【Eメール】

office@tk-kokko.org

UR: <http://tk-kokko.org/>

東京国家公務員・独立行政法人労働組合共闘会議 09-4号 2019/10/29

**過労死はごめんです！ 安倍さん働き方改革を言うなら
まずは政府のお膝元職場の「霞が関」からではありませんか
2019年11月18日・お昼休みに霞が関・人事院厚労
省前で宣伝行動（その後人事院への申し入れを予定）**



厚労省夜23時

新年早々から不夜城

1月9日

**霞が関の過密労働・異常な残業実態を根本的に解決させる
展望は労働組合が闘ってこそ**

安倍政権は「働き方改革」を声高に口にしますが、過労死を促進する残業代ゼロ制度（高度プロフェッショナル制度）を盛り込んだ「働き方改革」一括法を成立（2018年6月29日）させるなど、実行面では真逆な方向を突っ走っています。

「働き方改革」を言うのであれば「8時間働けば生活できる賃金の保障」や、「過労死」と言う言葉が日本語から消えるよう労働時間の短縮

こそ、今まさに求められています。



ところが政府のお膝元職場・霞が関では過労死ラインの職員が9.8%（3,332）というアンケート結果も出ています（霞が関国公・東京国公の残業アンケート結果/2019年春闘時の調査）。厚労省では20130代が中心の職員38人による「厚労省改革若手チーム」が4月に発足し、部内アンケートも実施し、8月26日には、業務や組織の改革のため、根本匠厚労相に対し緊急提言も行いましたが、そのアンケートには「長時間・過密労働で」人生の墓場に入ったとずっと思っている」との声すら出ています。この根本原

因は相次ぐ定員削減により、業務量に見合う職員配置が全くなされていなくことです。そのことは国家機関全体にも言えることです。

9月26日には、自民党、立憲民主党、日本共産党の各 国対委員長へ申し入れ

私たちは「働き方改革はま
ず霞が関」からをスローガン
に、真の働き方改革を求めて
運動を展開しています。直近
では9月26日には長時間残
業の原因の一つでもある国会
における各党の質問通告に関
わつての要求を、自民党、立
憲民主党、日本共産党の各
国対委員長への申し入れを行
いました。



11月の18日のお昼休みに
霞が関・人事院厚労省前で宣
伝行動（その後人事院要請を
申し入れ中）を実施します。
18日お昼休みは人事院・厚労
省前に！

11月18日（月）12:15~12:50は 人事院・厚労省前に 夜は

せめて新婚さんぐらいは定時に帰せ！—「夫を返せ！」（新妻）



決戦は年金支給日

投稿A生

2019年10月20日付け
日経新聞で表題の記事が1
面を飾っていた。気になった
ので読んでみたが、この記事
を書いた記者はおそらく
「DREAMS COME TRUE
の決戦は金曜日」を知ってい
る年代なのだろう。記事内容
は「偶数月の15日である年金
支給日が、個人消費の現場で
注目されている。20年で約21
兆円も増え今や55兆円規模
（2017年度）に膨らんだ年
金を取り込もうと企業も動く。
日本経済新聞社がスーパー
の店舗あたり来店客数と販売
金額を調べたところ、18年は
全国の10地域全てで年金支
給日が給料日を上回った。消
費の現場が大きく変わりつつ
ある」という内容の記事だ。
10年ほど前から言われて
いたことでもある。その頃、
旧山谷地域を歩いていたら今
日はやけに賑やかだなど通行
人同士が話していた。その当
時も違法であったが路上で博
打をやっていた。交番がすぐ
近くにあるにも関わらず堂々と
したものだ。ただ、そこ
で場を囲んでいる人たちのほ
とんどが年配者で、その日が
年金支給日だったのである。
パチンコ屋さんも年金支給日
は満員になるといわれていた。

私たち小市民は給料日が楽
しみだ。今夜は飲みに行こう、
どこかに遊びに行こうと計画
を最低でも一週間は立てられ
る。コマシヤルにも至福の
時と宣伝されているが、まさ
にほくほくなのはほんの一週
間である。日本の年金支給の
平均額はせいぜい月10数万
円というところだろう。一日
も早く満足できる年金をいた
だきたいものである。しかし、
実際はマクロ経済スライドで
年々減少する仕組みになって
いるという。こんな理不尽な
ことが許されるのであろう
か？真面目にコツコツと働い



て年金掛け金を支払っている
にもかかわらず60歳を過ぎ
て部分年金をもらいだしても
在職老齢年金制度のため減額
支給を余儀なくさせられる。
厚労省の審議会はどう見直す
か？議論されている。注目し
ていきたい。

読者の皆さんにお願いです

東京国公ホームページと
東京国公だよりへの投稿・寄
稿をお願いします。職場の
事、仕事の事、単組の事、ど
んなテーマでも結構です。